

2023年度 桜蔭中学校 国語 解答

大問一

問一 A 風潮 B 白熱 C 勢い

問二

正しいと思って発した自分のことばが、どこかで誰かを傷つける可能性のあることにとまどい、その可能性を知りつつ発した自分のことばが間違いで、誰かを傷つけてしまうことに怯えている。(87字)

問三

多様性のおかげで世界は面白く、寛容なのに、世界が一つになるとそれらが失われ、みんなの意見・考えが一つの方へ流れ、同調圧力となり、世界が狭く、息苦しいものになるから。(82字)

問四③

問題を解決するために、あれこれ考える前に、直ちに行動を起こしてみることがよいということ。(44字)

問四④

問題の解決するために、性急に結論を求めず、納得がいくまで調べて自分の考えを深めていくこと。(45字)

問五

カミュの人を傷つけることばにならないように決して気をゆるめず、意志と緊張をもってことばを発し、書くことをやめなかった点と、世界と自分は本来違うものであると考える峯田和伸の、その違いを残すために誰ともつながろうとせず、今あるつながりを大切にしようとしている点。(129字)

## 大問二

問一 A 思案 B 歩調 C 不動産 D 表札（標札） E 難しい

問二 ア 芽 イ 計算

### 問三

猫が今井さんの家の庭にうんちやおしっこをしたことに仕返ししようとし、ペットが飼える椿マンションの入り口に生ゴミを捨てたり、近所に椿カイロプラクティックの悪口を書いた手紙を配ったりすること。（94字）

### 問四

自分の悪意のない一言や、親切にしようとしたことが、結果的に友達を傷つけてしまった経験から、いい人の全部が良かったり、悪い人の全部が悪かったりするとは限らないことを羽美に伝え、今井さんも全くの悪人ではないことに気づいてもらおうと思ったから。（119字）

### 問五

羽美から今井さんの隣近所に対する反応を聞き、今井さんはまるっきり悪い人ではなく、孤独から冷静な判断ができなかったのだと考え、羽美に伝えようと思ったが、素直に聞いてもらえそうにないので、子供のころの良い思い出がある場所で素直な気持ちになってもらい、時間をかけて話した方が良かったと思ったから。（143字）